

収量抜群、短節間の大玉豊産種

AJ-139

※農研機構 北海道農業研究センターとの共同開発品種

4玉以上の大玉種、
生食・加工にも
最適



【特徴】

- ・短節間品種。肥大力が強く、株元着果でも果重2.0kg以上の大玉となる。
- ・着果性がよく、株元着果で整枝作業を省力できる。
- ・交配後50～55日前後で収穫する中生品種。
- ・草勢は強く、葉はやや大葉。玉やけも少なく、後半まで枯れ上りも少ない。
- ・果実は整った扁円形。果皮の凹凸が少なく、磨きや箱づめ作業が容易。
- ・果肉は肉厚で色もよく、カット売りにも最適。
- ・肉質は粉質でおいしい。収穫から3-4週間後を出荷目安とする。

【栽培のポイント】

- ・密植（800～1000本/10a）放任栽培で省力と多収の両立が可能。玉肥大が良い場合はさらに密植も可能。
- ・肥料は窒素成分で10a当り12kgと標準施肥の管理とする。
- ・果柄部のコルク化が80%以上を過ぎた完熟で収穫する。

【適作型】

